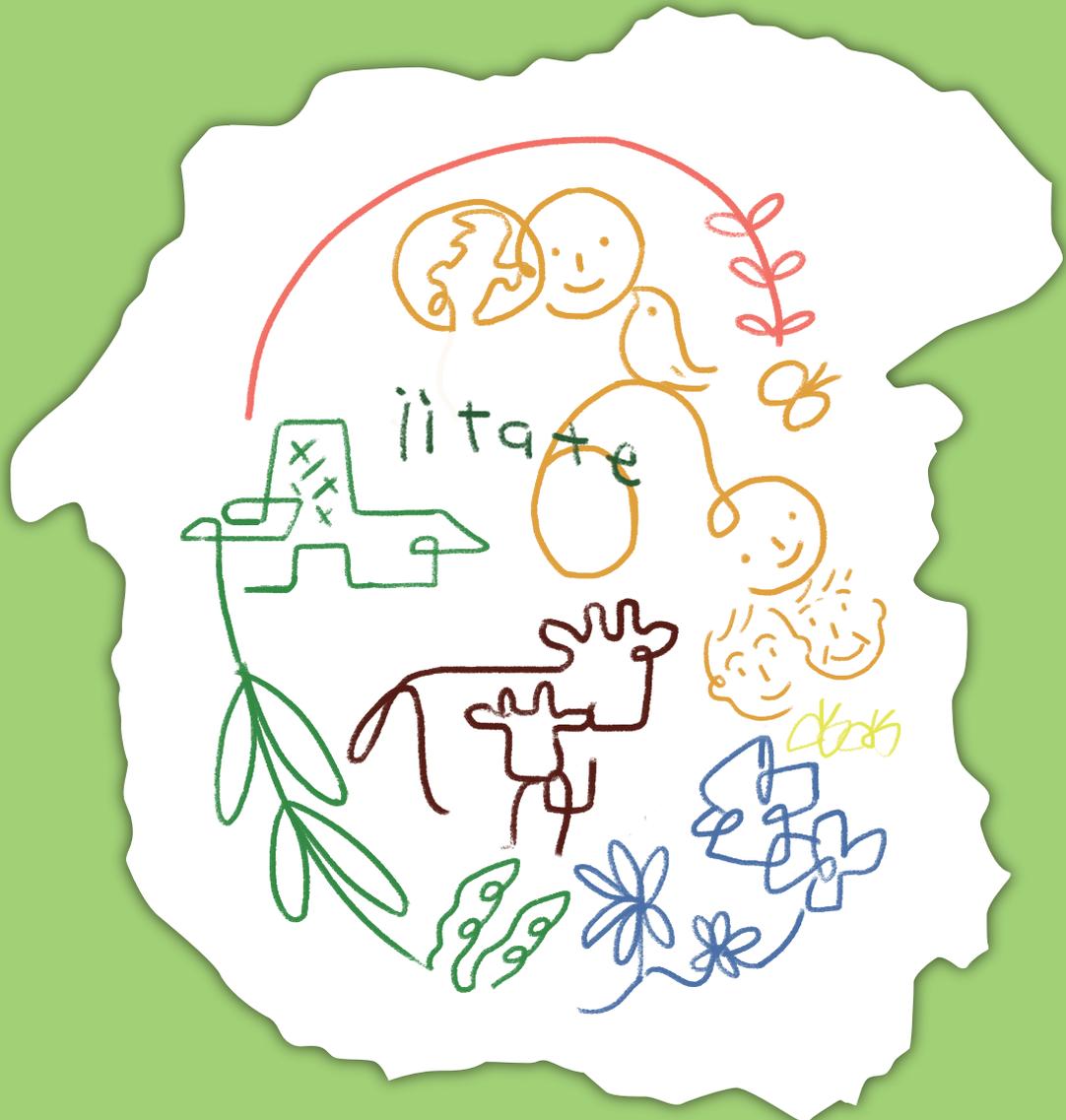




# ものは引き算、 ここは足し算の村づくり

ちょっと住む 時々住む ずっと住む  
みんないいかも いいたて村







## ごあいさつ

早いもので原発事故による全村避難から間もなく10年が経とうとしています。

この間、復興に向け、日に日に変わる対応について、第1版から第5版までの復興計画をつくりながら、出来るだけ臨機応変な考え方をもって村の復興を進めてきたところです。

11年目に入るに当たり、本来の村の総合計画をもって進めるべきと考え、今回、第6次総合振興計画をつくらせていただきました。

この10年間に私たちは何を学んだのでありましょうか。

1つには、物質的な豊かさだけを求めていけば、多くのエネルギーが必要となり、また原発を求めていくようになるのではないかということ。

2つには、以前と全く違う環境の中で新しい村づくりを進めていくためには「相手のことを思いやる」「心のシェア、つまり分け合うこと」等が必要不可欠になってくるのではないかということ。

そして3つ目として村民の住み方の多様性を認め、かつ、新たな住人とも共に歩むという心づかいが大切になってくるのではないかと。

その学びの中から第6次総合振興計画のキャッチフレーズ、つまりねらいを次のようにしたところです。

**「ものは引き算、こころは足し算の村づくり」。**

そしてもう1つのテーマとして「**ちょっと住む 時々住む ずっと住む みんないいかもいいたて村**」です。

考え方はいろいろあるでしょうが、これから諸事業を進めるに当たっても、要は**人々の暮らし方、生き方、心のもち方**を大切にしながら進めていきたいと思いますということ。

村民はもちろんのこと、多くの方の力を借りて、新しい村づくりを進めていこうではありませんか。未来の飯舘村の為に…。

最後になってしまいましたが、この計画の策定に当たり、貴重なご意見・ご提言をいただいた村民の皆さまをはじめ、村振興計画審議会や村議会、そして関係された多くの方々に対し、厚く御礼を申し上げ、計画作りに当たってのご挨拶といたします。

令和2年9月

飯舘村長 菅野 典雄

# 目次

■序 論 .....	4
第1章 計画の概要 .....	5
(1) 総合振興計画とは.....	5
(2) 計画の構成と期間.....	5
(3) 計画の対象事業 .....	5
第2章 計画策定に向けての基本認識 .....	6
(1) 村の概況 .....	6
(2) 村の財政状況見通しと人口推移 .....	6
■基本的な考え方 .....	8
■基本計画 .....	16
第1章 計画体系 .....	17
1-1 計画体系図 .....	17
1-2 各分野のめざす姿 .....	19
第2章 分野別計画 .....	23
2-1 健康.....	23
2-2 福祉.....	29
2-3 環境.....	34
2-4 産業.....	36
2-5 観光.....	44
2-6 移住.....	46
2-7 学校教育 .....	50
2-8 社会教育 .....	54
2-9 文化.....	57
2-10 防災 .....	61
2-11 建設 .....	65
2-12 行財政 .....	69
第3章 計画の推進に向けて .....	72
3-1 着実な実行のためのPDCA .....	72
3-2 小さなPDCA=単年度ごとの検証 .....	73
3-3 大きなPDCA=計画の見直し .....	73
関連する総合計画等 .....	74
巻末資料 .....	80